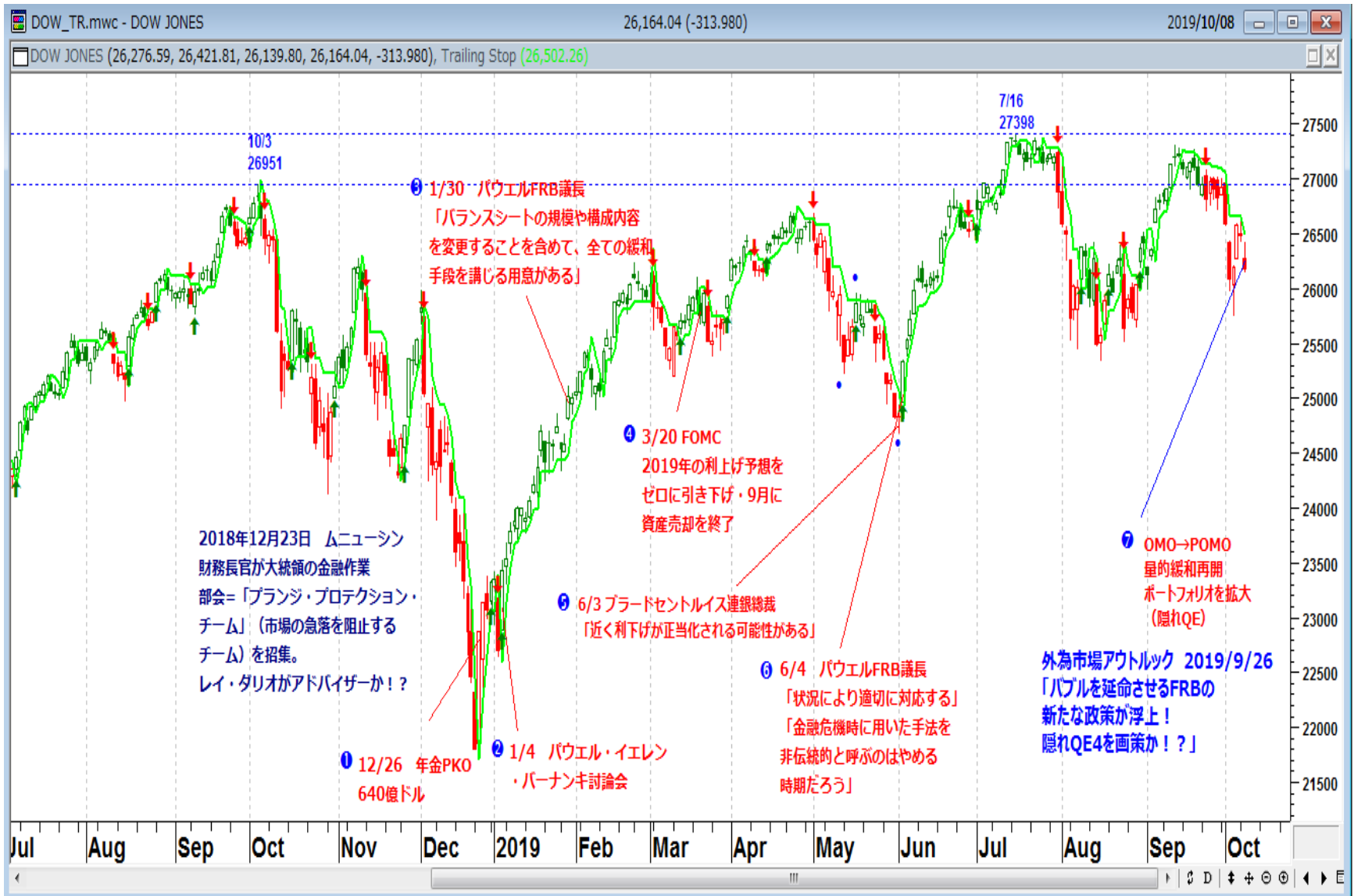
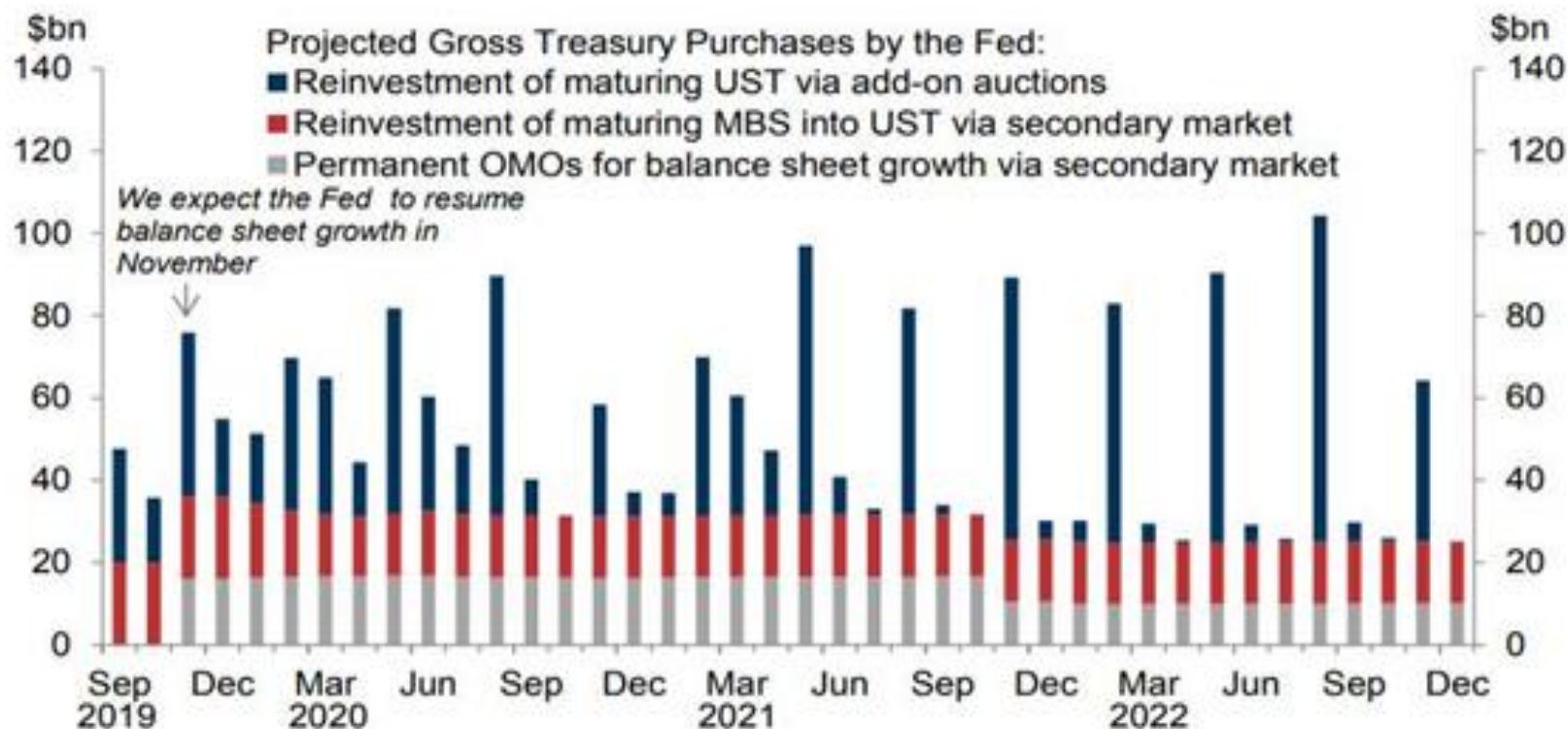


NYダウ（日足）と金融当局のPKO



バンクオブアメリカとゴールドマンは大まかに150億ドル/月の恒久的なOMOを想定している。この戦略により、バランスシートは年間約1,800億ドル膨らみ、Fedによる米国債の純購入額（赤と灰色の棒の合計）は今後数年間で約3,750億ドルになる。

Exhibit 3: We Expect the Fed to Resume Trend Growth of Its Balance Sheet in November



Source: Goldman Sachs Global Investment Research, Haver Analytics

出所：ゼロヘッジ

「長期的には相場では決して勝てない」

- チューダー・ファンドのポール・チューダーは、「史上最高の投資家、ジェシー・リバモアは長期的には相場では決して勝てないと言ったと伝えられている。相場に決して勝てないという考え方は驚くべき見方だ。だからこそ私の哲学は巧みな防御なのだ。自分が超人的な洞察力を持っているなどと思っははいけない。常に自信を持っていないが、注意を怠っははいけない」と『マーケットの魔術師』のなかで語っています。



「マーケットの魔術師 米トップトレーダーが語る成功の秘訣」 ジャック・D・シュワッガー, 横山直樹 (パンローリング)

本書は、世にこれほどすごいヤツたちがいるのか、ということを知らしめたウィザードシリーズの記念すべき第一弾。ここには今や伝説となった、リチャード・デニス(タートルズ産みの親)、トム・ボールドウィン、マイケル・マーカス、ブルース・コフナー、ウィリアム・オニール(『オニールの成長株発掘法』の著者)、ポール・チューダー・ジョーンズ、エド・スイコータ、ジム・ロジャーズ、マーティン・シュワルツ(『ピット・ブル』の著者)など、トレード界の「ドリームチーム」とも言うべき、きらめき光り輝いている面々が勢ぞろいしている。

「本書を読まずして、投資をすることなかれ」とは世界的なトップトレーダーがみんな口をそろえて言う「投資業界での常識」である！

ジェシー・リバモア

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

- マサチューセッツ州シュルーズベリー出身。貧しい移民の家庭に生まれ、証券会社の黒板書きの仕事に携わりながら資金を溜めて株取引を始めるに至った。
- 15歳のとき年上の同僚から差金決済取引の原型となるバケット・ショップに誘われ、3ドル12セントを儲けた時から投機家へと足を踏み出すことになる。彼は『無鉄砲な少年相場師 (boy plunger) 』の異名が付くほどバケット・ショップを相手に勝ち続けた。
- 1897年、ニューヨーク証券取引所に発注する実際の株取引を開始するが、6ヶ月足らずで破産する（1度目の破産）。
- 1900年10月、ネティ・ジョーダンと1度目の結婚。翌1901年、強気の相場に乗り5万ドル（現在の貨幣価値で20億円程度）の資産を作る。1906年、世界経済の情勢を分析して、この5万ドルを空売りに投じる。株価が下落するという読みは正しかったものの仕掛ける時期が早すぎたため、直後の株価の反騰の波に飲まれ、5月に2度目の破産。妻・ネティのために購入した高額の宝石類を質入して投機につき込むという頼みを断られたことをきっかけに、夫婦仲は悪化し別居が始まった。

- 1907年、2度の破産から立ち直り、100万ドル（現在の貨幣価値で200億円）の資産を保有するようになるが、「コットン・キング」の異名を持つパーシー・トーマスの勧めでコットン市場にも手を出すようになる。しかし1908年、コットン相場の大暴落で綿花の買い占めに失敗、莫大な負債を抱えることになる。
- 負債を抱えながら投機を続けることに限界を感じたリバモアは、債権者一人ひとりに「再起したら必ず負債は返す」と約束してまわった上で1915年2月18日、破産を申請、受理される（3度目の破産）。
- 破産が確定して精神的に開放されたリバモアは再び市場で勝ち始め、1917年に債権者達に負債を完済する。
- 同年10月に長年別居していたネティと離婚し、ショー・ガールだったドロシー・ウェントと出会って2度目の結婚。2児をもうける。

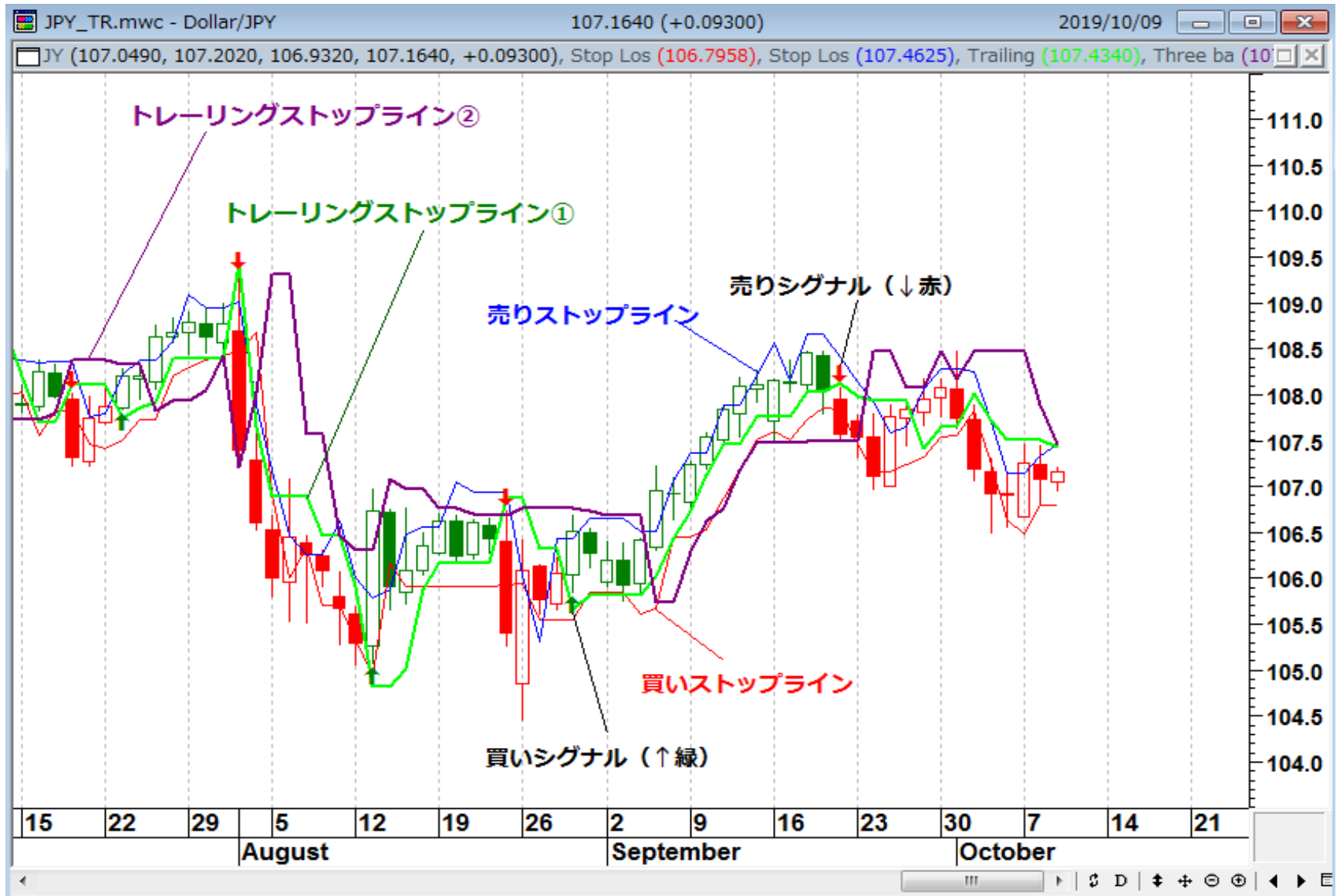


欲望と幻想の市場: 伝説の投機王リバモア

"ウォール街の賢人" について書かれた中で最良の書物だ。すべての言葉は金言であり、もし本書を持っていないなら、大至急、本日もにも買い求めること。——『ラリー・ウィリアムズの相場で儲ける法』より

- **1929年9月4日、世界恐慌の引き金となった暗黒の木曜日に向けた空売りを行ない、1億ドル（現在の貨幣価値で4000億円）以上の利益をあげる。10月24日、リバモアは大量の売りポジションを持っており、もし彼がこのまま売り続ければNY市場は本当に崩壊しかねない状態であった（リバモアは売り買いが上手くいっている時にさらに積み増すピラミディングを得意とした）。ついにJ・P・モルガンがリバモアにわざわざ使いをよこし、市場を救済するため、これ以上の売りは行わないよう要請してきた。これを受け翌10月25日の朝、リバモアは猛然と買い戻しに入り、主要なあらゆる株をも買い捲る行動に出た。これをきっかけに市場の流れは変わり、暴騰相場が始まった。銀行家達は、リバモアの愛国的な行為に感謝した。**
- **1932年9月16日、不倫が元で別居していたドロシーと離婚。離婚後しばらくしてハリエット・メッツ・ノーブルと出会い、1933年3月28日に結婚。ハリエットの結婚は4度目であり、しかも彼女の前夫たちはみな自殺していた。**
- **1934年3月5日、4度目の破産。**
- **1940年3月、息子ジェシー・ジュニアの勧めから『How to Trade in Stocks』を著すが評判はいま一つであった。同年11月28日、ニューヨークのホテルの一室で「どうしようもない。事態は悪くなるばかりだ。私は戦うのに疲れた。もう続けていけない。私にはこれしか方法がない。私は君の愛には値しない。私は失敗者だ。本当にすまないが私にはこれしか方法がないのだ」と書かれた遺書を妻に残し、ピストル自殺を遂げた。晩年はうつ病を患っていた。**
- **彼が死に際して残した信託と現金は500万ドルにのぼっていた。**

ドル/円の短期 <順張り> シグナルとトレーリングストップライン

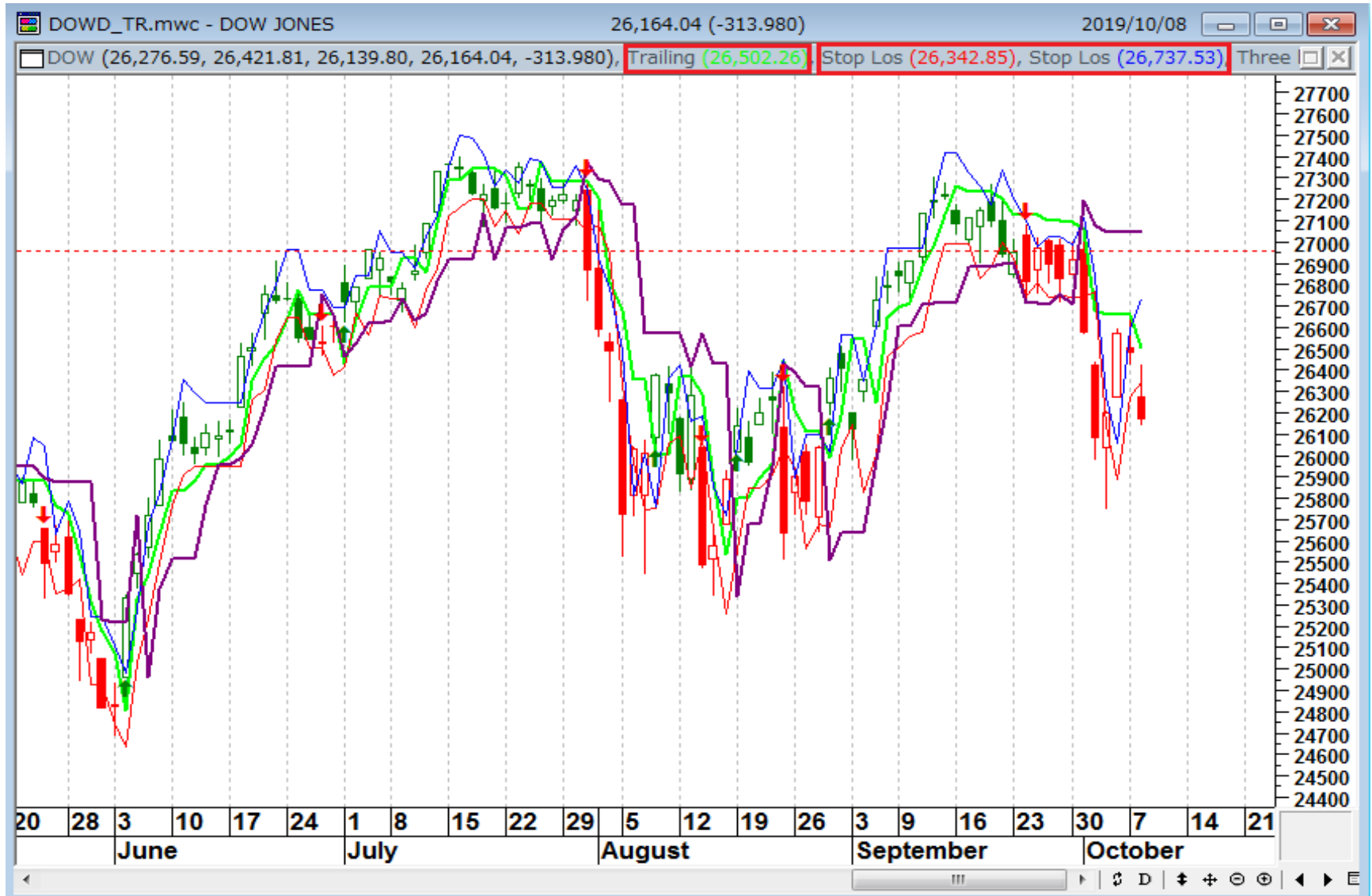


出所：石原順のメルマガ「マーケットの極意」

いかにして損をするか・・トレーリングストップの有効性

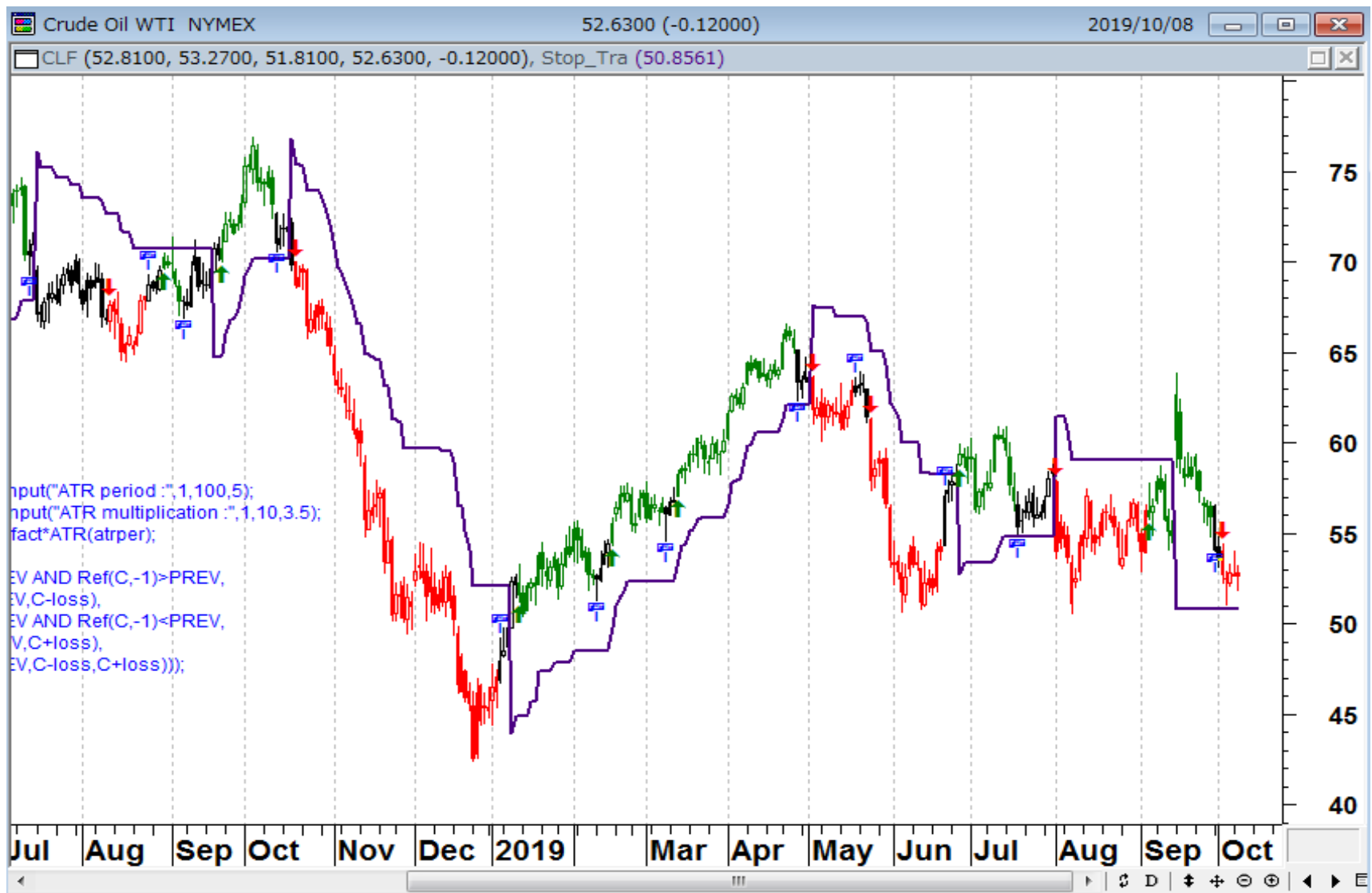
- 筆者にとって上下のストップ幅損切りラインと同じくらい重要なのが、トレーリングストップ注文による「強制利食い」である。ストップロスポイントまで待つことなく素早く相場から撤退できる。
- 三角もちあい相場が収縮する中で、昨年からドル/円はトレンドレスな相場が続いている。最近のドル/円相場は特にトレンドが発生しにくいので、システムトレード（プログラムによる自動売買）では、緑色のトレーリングストップライン①を使ってトレードをおこなっている。
- おかしな話だが、筆者は「いかにして損をするか」という問題に30年超取り組んできたのである。相場で全勝するのは不可能である。だから、いかに負けるかが重要なのだ。
- 相場で一番大切なのは防御で、具体的にはストップロス注文を置くことである。あとに残された課題は利益をいかに伸ばすかだが、損失の最小化と利益の最大化を両立させる注文方法は <トレール注文> であろう。
- （出所：石原順のメルマガ「マーケットの極意」）

NYダウの短期 <順張り> シグナルとトレーリングストップライン



出所：石原順のメルマガ「マーケットの極意」

NY原油先物（日足）とATRトレールストップ°（動的に変化）



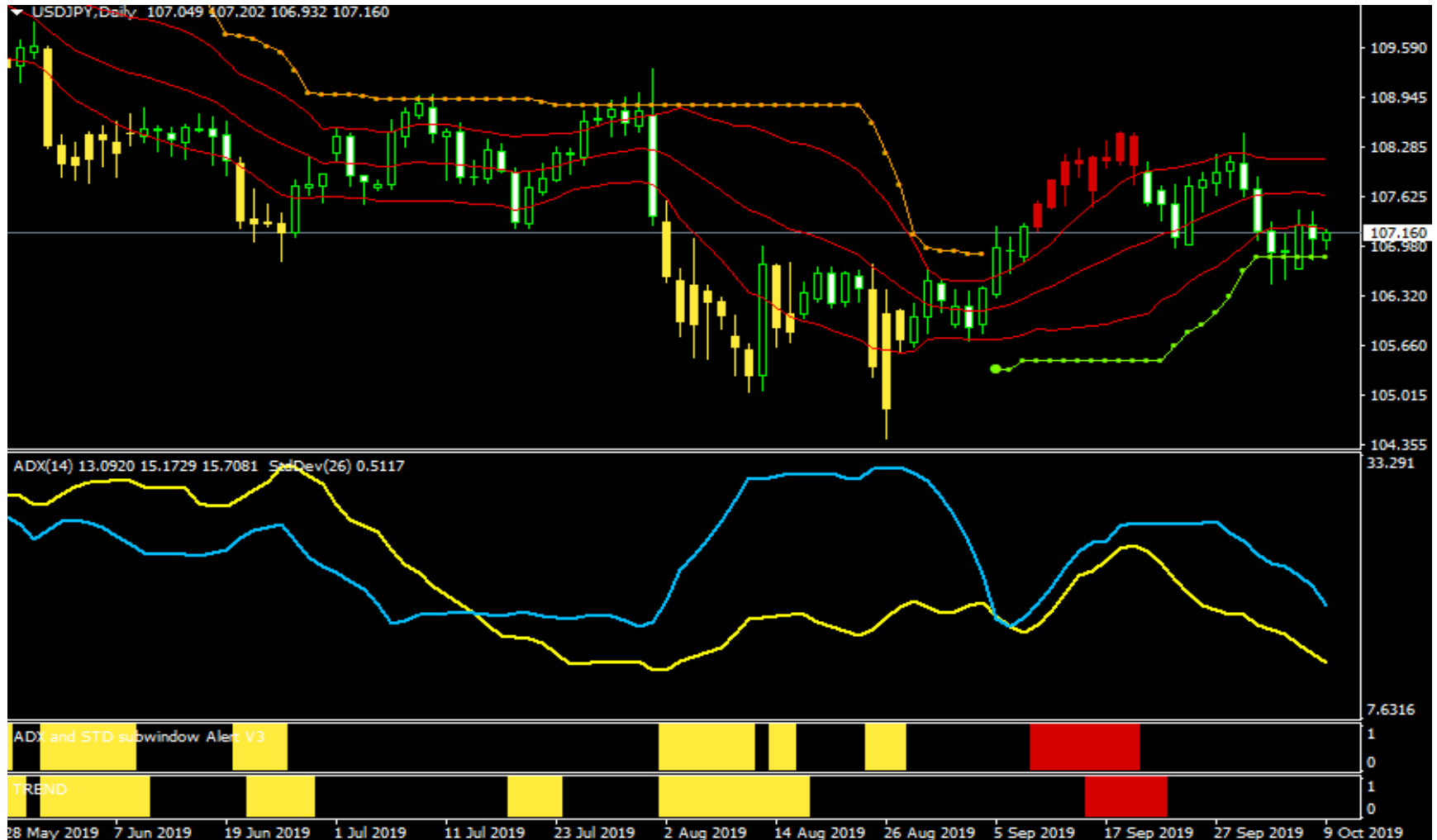
出所：石原順のメルマガ「マーケットの極意」

勝っても負けても、皆自分の欲しいものを相場から手に入れる

- 「投資に必要な能力は何か？」という質問をよく受ける。これは難しい質問だが、「未来を正確に予測することは誰にもできない」ので、能力や資質があるかいないかという問題は、「誰も資質がない」ということになる。所詮は人間がやっていることで、投資で成功するかどうは「運」に左右されることも多い。
- ラリー・ウィリアムズは、「マネーマネジメントとは、トレードにおいて最も重要なルールである。トレンドや価格もちろん重要だが、自分の資金をどう扱うべきかを分かっているかどうかは最も大切なことである」と述べているが、相場を当てる（トレンドをとる）という行為より、資金がなくなってゲームオーバーとなるという事態の方が重要であることは間違いがない。したがって、ゲームオーバーにならないように運用することができる人は、投資家としての能力をもっているといえるだろう。
- 投資本の名著『マーケットの魔術師』に登場するエド・スィコータは、「ほとんどの敗者は負けたがっている、そして目標に到達できない」、「負けるトレーダーは彼自身を変えたいとは思っていない」と述べている。
- 「そんな馬鹿な話があるか？」と皆が思うだろう。投資家は皆「勝ちたい」と思っているが、実際の投資行動は「負けたい」という投資行動になっていることが多い。エド・スィコータは、「勝っても負けても、皆自分の欲しいものを相場から手に入れる」と言っている。これは、相場の本質を突いたとても深い言葉である。

ドル/円 (日足)

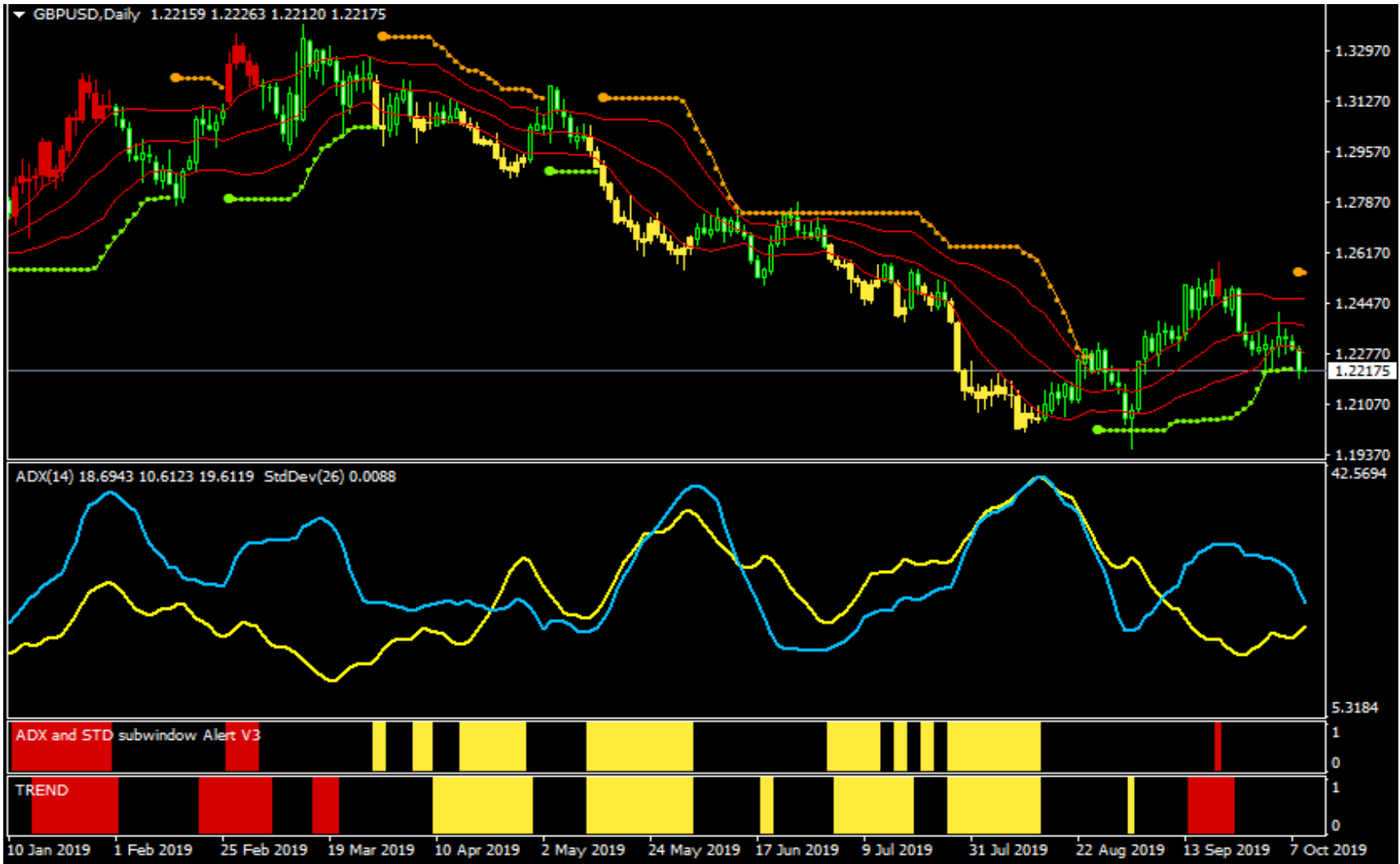
順張りの標準偏差ボラティリティトレードモデル



出所：楽天MT4・石原順インディケーター

ポンド/ドル (日足)

順張りの標準偏差ボラティリティトレードモデル





石原順 Jun Ishihara 最新作

この世に絶対に儲かる売買手法など存在しない。
相場は確率に賭けるゲームである。

(補佐) ゲームの勝者になるためには、
エッジというものを見つける必要がある。

☆☆☆
2018年
売上ランキング
第1位



[DVD] 石原順の ボラティリティトレードシグナル

石原順(西山幸四郎) DVD 100分 送料別 ¥15,000+税

現役ファンドマネージャーが、30年以上の相場の世界で身に付けたトレードモデルを大幅にバージョンアップしました。新しい標準偏差ボラティリティトレードモデルには、売買シグナルが搭載されており、5分足でも30分足でも1時間足でも4時間足でも1日足でもチャートを立ち上げておけば、売買シグナルをポップアップ表示と音でお知らせします。

実際の運用で行っている再現性の高いサインになるので、高き目標を定める人にとって、本DVDの学びは深いものになることに間違いありません。

購入者特典 売買シグナルアラート搭載 MT4インジケーター付き

- ◆ インジケーターの使用期限は6か月間 (以降は更新制)
- ◆ 売買トレンドが色で表示できる
- ◆ 売買シグナルが矢印で表示できる
- ◆ ポップアップと音で売買シグナルが確認できる



石原順 (西山幸四郎)

相場の真実および高パフォーマンスに繋がる実践した独自のトレード分析や情報ネットワークを基にした売買技術で多くの投資家を輩出している。
現在は独自の海外ファンドの運用を担当する投資ファンドマネージャーとして活躍している。

NEW 石原順のメルマガ マーケットの極意

読者限定 ドル円や日経平均の順張り・逆張り売買シグナルを掲載!
限定サイト 日々の情勢をフォローアップ!

時代を先取りして独創的な視点で情報を発信します。
世界の為替や株安を動かす要因を分析し、資産を増やすための市場や商品、または自己防衛のための見解を明らかにします。
今なお現役ファンドマネージャーの石原順が、30年の運用経験を経て学んだ真知をタイムリーに学ぶことができます。
読者限定サイトでは、日々変わる市場をリアルタイムで読者にフォローアップします。

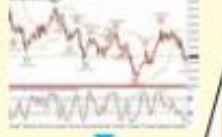
石原順先生のコメント

本メルマガでは、マーケットテーマやファンダメンタルズ中心のレポートですが、メルマガ読者限定でこれまで公開していないドル/円や日経平均の順張り・逆張り売買シグナルを掲載しています。

- ドル円(日足)の逆張りシグナル
- 日経平均(日足)の逆張りシグナル



ボンド(日足)と逆張りシグナル



ボンド(円)と逆張りシグナル



お申し込みはこちらから! ▶▶ 電話番号 13548



配信方法	PDF (電子メールで配信します)
配信頻度	月4回の配信予定 (月曜日もしくは火曜日に更新)
月額	1,500円+税

お申し込みの翌月からは、クレジットカード(VISA, MasterCard)の自動決済での引き落としになります。それ以外での申込の場合は、発行以降のお支払い員として口座振替申込書をお送りします。金融機関の手続きに2週間ほど要します。お申し込み後の翌営業日15時以降に会員サイトにログインできるようになります。申込月の月末までご利用いただけます。

出所: パンローリング

レイ・ダリオの恐るべき洞察力「昔からある危険な旅の次の帰結は？ 1935-45 との類似点」(レイ・ダリオ)

「U6」と呼ばれる不完全雇用率は 6.9%に低下し、2000 年以降の低水準 - 前月は 7.2%
U6 にはフルタイムでの雇用を望みながらもパートタイムの職に就いている労働者や、仕事に就きたいとは考えているものの積極的に職探しをしていない人が含まれる。

レイ・ダリオの恐るべき洞察力

「昔からある危険な旅の次の帰結は？ 1935-45 との類似点」(レイ・ダリオ)

THE NEXT LOGICAL STEPS IN A CLASSIC DANGEROUS JOURNEY?

RAY DALIO

The Threat to Limit Capital Flows to China and Pending Impeachment Conflict: Next Logical Steps in a Classic Dangerous Journey? The 1935-45 Analogue

Published on 2019 11/21

<https://www.linkedin.com/pulse/threat-limit-capital-flows-china-pending-impeachment-conflict-dalio>

Copyright(C)2019 Jun Ishihara & Pan Rolling Inc. All rights reserved.

4

iv) 12 月 15 日、最も政治的にデリケートな中国の輸入（米国消費者にとっては中国以外の代替がない（約 87%を占める）価値が高い消費財）の 1,600 億ドルに関税が課される予定

付録 2：1930 年代の戦争への道（1930 年から 1941 年頃の「借金地獄をどう乗り切るか」のパート 2 から抜粋）

この章の目的は、1930 年代の米国の債務と経済状況を調査することである。一方、米国内および米国と他の国との関係、最も重要なドイツと日本との、経済状況と政治的状況は当時非常に絡み合っていたため、無視することはできない。

最も重要なことは、ドイツと日本は持てる者（右）と持たざる者（左）の間の内部対立があり、より民衆迎合主義、排外的、国家主義、そして軍事主義的リーダーを生み、結果として民主主義に基づいて彼らに独裁主義者の権力を与え、同国の経済をひどい状況に突き落とす。彼らはまた、これらの国々が既存の世界の大国に対抗する経済的および軍事的な大国となり、その結果、外部からの経済的および軍事的対立に直面した。

1930 年代の世界の状況を伝えるために、1939 年のヨーロッパでの戦争が正式に開始するまでの 1930 年以降、そして 1941 年の真珠湾攻撃まで起こった地政学的な出来事を振り返ろう。

1939 年と 1941 年はヨーロッパと太平洋での戦争が公式に始まった年であるが、実際の戦争はその約 10 年前に始まった。最初は自給されていた経済競争が次第に第二次世界大戦に発展した。ドイツと日本がより拡張主義的な経済力と軍事力を持つようになると、資源と領土の両方で、英国、米国、フランスとの競争がますます激しくなった。それが最終的に戦争に至り、その結果、どの国（米国）が新しい世界秩序を決定する力を持っているかが明らかになるまで続いた。これは新しい世界秩序をもたらす。そしてまた同じ道をたどっている。

より正確に：

1930 年、スムート-ホーリー関税が貿易戦争を開始した。

1931 年、日本の資源は不十分で、農村部の貧困は深刻化し、天然資源を得るために中国の滿州に進出した。米国は中国を日本の支配から解放したいと考えていた。また、東南アジアからの天然資源、特に石油、ゴム、スズを奪い合っていたが、一方で、日本と米国は互いに重要な貿易をしていた。

1931 年、日本の不況は非常に深刻となり、日本は金本位制から脱却し、円の変動相場制（大幅に下落）と財政と金融の拡大を行った。それによって日本は回復と力強い成長を経験する最初の

Copyright(C)2019 Jun Ishihara & Pan Rolling Inc. All rights reserved.

10

出所：石原順のメルマガ「マーケットの極意」

1930年代に起こった出来事

Ray Dalio

<https://www.linkedin.com/pulse/threat-limit-capital-flows-china-pending-impeachment-conflict-dalio/>

- 1930年 スムート・ホーリー法。貿易戦争がスタート。
- 1931年 日本の中国侵攻・金本位制廃止。
- 1933年 独でヒトラーのナチスが人気に。
- 1936年 日独防共協定
- 1937年 FRBが利上げ。米国株が半値に。
- 1937年 日中戦争勃発。
- 1939年 独のポーランド侵攻で第2次世界大戦に。
- 1940年 ABCD包囲網で日本への経済制裁強化。
- 1941年 真珠湾攻撃を大義名分に米国が参戦。

NYダウ（日足） 1920年～1946年

何度でも同じことは繰り返される？

1937年は金融緩和の環境で米国経済が回復、FRBは利上げに動いたのだが・・・

1937年は金融緩和の環境で米国経済が回復し、FRBは利上げに動いた。その結果、国債は売られ（金利上昇）、株価は1937年3月高値194ドルから1938年3月にかけて50%以上急落した。これを受けてFRBは再び金融緩和に動いたが、この後もNYダウは1942年4月28日の92ドルまで下落し、1937年高値の194ドルを回復したのは1945年12月8日のことである。



出所：筆者作成